

TPDS NEWS



※ TPDS = Tokyo Plastic Dental Society = (一社) 東京形成歯科研究会

Vol.105

配信日：2026年6月15日

配信元：(一社) 東京形成歯科研究会 事務局

須坂新聞 記事紹介

“ 幸せの青い鳥はどこに？ ”

相談役・理事 北村 豊 先生

当会の相談役・理事 北村豊先生からご提供いただいた記事をご紹介します。

記事の内容につきましては、別紙※の通りでございます。

※ 別紙 出展元：「須坂新聞」 2026年(令和8年)6月13日 発行

事務局より

会員の先生方から情報提供いただければ、その都度、施設長に相談して、「TPDS NEWS」にて配信させていただきます(施設長より)。従来は、歯科・医科に関する内容を配信しておりましたが、北村先生のご指導もあり、「TPDS NEWS」を会員・関係各位の交流の場(ツール)として活用していただくことを目的に、配信する内容(企画)の幅を拡大することと致しました。お気軽に「TPDS NEWS」の材料(ネタ)を事務局まで(下記)ご提供いただけると幸いです。ご検討の程、何卒宜しく願い申し上げます。※反社会的内容等の場合は、配信を断念する場合がございます。予めご了承願います。

〒114-0002 東京都北区王子 2-26-2 ウェルネスオクデラビルズ 3F

一般社団法人東京形成歯科研究会 事務局

Email: info@tpdimplant.com

TEL:03-3919-5111/FAX:03-3919-5114



北米に広く分布する青い鳥「ブルージェイ」撮影者 Harold Stiver(カナダ)
右上は大リーグ「ブルーージェイズ」ロゴ



幸せの青い鳥はどいつだ？

つい最近、毎日のように庭に来ていたツグミが、ここ2〜3日見かけなくな

り、一抹の寂しさを感じている。ツグミもコハクチョウやマガモなどと共に冬が近づくと渡ってくる鳥であるので奥ゆかしく「冬告げ鳥」とも日本では呼ばれるが、この「暖かい信州」で無事に越冬したツグミも、子育てのため寒さが和らい

てきた故郷のシベリアに帰って行ったのであろうか？

さて鳥といえば、本物の鳥ではないが、ロゴマークとなった鳥をテレビで最近よく見かけるようになったことに気付いておられるだろうか？

そうですね！ ドラフト会議で巨人に1位指名されて同球団に入った岡本和真選手の移籍先。大リーグ唯一のアメリカ国外球団のカナダのトロントに本拠地を置くブルーージェイズ。今年始まったばかりのリーグ戦で初戦から注目される活躍をしてくれていることで、マスメディアの報道でもこの球団の鳥のロゴマークがよく映し出されている。彼の活躍に元気をもらったのか、今春の甲子園での

選抜高校野球大会では私の故郷でもある奈良の岡本選手之母校・智弁学園が準決勝まで頑張ったものの力尽き負けてしまった。蓮舫議員なら当時の次世代スーパーコンピューター「京」の開発予算で放った迷言？の「2位ではダメなんじゃないか？」と言われてしまいかもしれない。

ブルーージェイズがカナダ初のMLB球団として1977年に誕生した際に、この新球団名は4000を超える応募から選ばれた名前だったそうである。

チーム名とロゴは、北米に多く分布する和名のアオカケス「Blue Jay」に由来する実在の鳥で、写真のごとくとても鮮やかな青い羽と頭のツンツンと突き立った「冠羽」が特徴の美しいスズメ目カラス科の鳥であった。ブルーージェイは、トロン

トを州都とする五大湖に接したオンタリオ州の州鳥に指定されていて、カナダでは非常に環境適応能力が高く、とても利口な鳥として知られ、「ジェイ」の由来は、よく「ジェイ、ジェイ」と鳴くからだそうである。しかし、時には天敵でもあるタカの鳴き声を非常にうまくまねて、周囲の鳥への警告や威嚇をして、自分の餌場から追い払うコミユニケーションの手段としても利用する賢い鳥らしい。

食性は基本的には植物食で、ドングリや木の実を好んで食するが、フナ科の種子であるドングリを土に穴を掘って埋め(貯食)、それを「取り出すのを忘れる」ことで森林の再生と拡大に大いに役立っていると考えられていて、この鳥の俗称を「エイコーン・プランター」(ドングリ植え付け者)とも呼ばれているそうだ。

「忘れる」という現象は、時としてマイナスと思われがちだが、ふとドイツの哲学者のニーチェの思想に基づき言葉を思い出した。「忘却はよりよき前進を生む」という言葉で、過去の感情にとらわれず、現状を打開して新たなステップに進むための、前進志向の姿勢である。

ブルーージェイのドングリ掘り出しの「忘却」は、北アメリカの森林再生、拡大に役立って豊かな森をつくることに大きく貢献しているのである。

当の本人のこの賢いブルーージェイは愚かな人から見ると「達観」していて、物事の真理や本質を見通し、目先の出来事に動じない冷静な境地にあるようにも見える。

ブルーージェイのような美しい青い羽を持つ鳥を見ると、私は幼少の頃に母たちから読み聞かせてもらった童話の「青い鳥」を懐かしく思い出す。この物語はたいていの日本人なら知っていると思うが、ベルギーのノーベル文学賞作家・詩人でもあったメーテルリンクの代表作である。

この童話の中に出てくる「幸せの青い鳥」は過去や未来、そして遠く離れた場所を探してもなかなか見つからず、普段何気なく日常を過ごしている身近な場所にいるということを見せてくれている。

さあ、皆さんも身近な環境の中で今日から幸せの青い鳥を純粹無垢な心と共に探していきませんか？

信州口腔外科インプラントセンター所長 (小布施町林)